

【リスト参照方式】

引用の仕方（日本語文献）

目次

—直接引用

先行研究の文章（短文）を引用する場合

先行研究の文章（長文）を引用する場合

英語文献を翻訳して引用する場合

—間接引用

先行研究の文章を要約して用いる場合

—図表の引用

参考文献、参考資料に記載されている図表をそのまま用いる場合

参考文献、参考資料に記載されている図表の一部を変える場合

公表データや公表資料をもとに独自に図表をまとめる場合

コラム

Q&A

2. 引用の方法

2.1 直接引用

引用する文の表現をそのまま用いて引用する方法

2.1.1 短く引用する一著者が1人の場合

青葉（2017, p.17）は「レポート執筆のためには、読書は不可欠だ」と指摘している。

青葉は「レポート執筆のためには、読書は不可欠だ」（青葉 2017, p.17）と指摘する。

広瀬は、「大学生が有意義なキャンパスライフを送るための1つの手段として、レポートの正しい書き方を学ぶこと」（広瀬 2015, p.12）が必要であると述べている。

- ✓ 直接引用した箇所は、引用したことがわかるように、「」（一重かぎカッコ）で囲む。
- ✓ 出版年とページ数の間は半角コロンと半角スペースをつける。

2.1.2 短く引用する一著者が複数人（共著書）の場合

東北と片平（2008, p.20）は、「レポートでは、適切に引用する事が何よりも重要である」と指摘している。

青葉らは、「レポート執筆においては、十分な研究倫理教育が重要である」点を強調している（青葉・仙台・片平 2015, p.20）。

一方で青葉らは「研究倫理教育は未だ不十分だ」（青葉ほか 2015, p.22）と指摘する。

- ✓ 共著文献の場合、（ ）の中では著者を「・」（ナカグロ）でつなく。
- ✓ 著者が3名以上の場合は、最初の著者のみ記載し、「ほか」としてその他の著者を省略してもよい。

Q & A

Q4.（青葉 2017, p.17）は、それぞれ何を表しているのですか？？

A4. ①誰の著作・論文か、②刊行年はいつか、③何ページに記されたものか、の3つがわかります。（青葉 2017, p.17）の場合、①青葉さんが、②2015年に書いた著作・論文の、③17ページ目に、「」内の文章が記載されているということです。

著作・論文の詳細な情報は、参考文献リストを見ます。参考文献リストで、下記のように著者名の次に刊行年を書くのも、探しやすくするためです。

青葉杜樹（2017）『大学生から始めるレポートの書き方』東北出版。

2.1.3 長く引用する—引用が概ね 3 行以上になる場合

川内（2013）では、次のように述べられている。

東北大学の学生の授業選択の指標の 1 つとして「鬼仏表」というものがある。「鬼仏表」には、授業を受講した学生の主観に基づき、当該授業を担当する教員が鬼であるか、仏であるかが記されている。主に成績評価方法に関して多く言及されている。例えば①テストやレポートが成績評価の 100%であり、さらにそのテストやレポートが簡単である場合、②成績評価の 100%が授業への出席である場合、当該教員は「仏」として認定される傾向にある。（川内 2013, p.13）

以上の指摘も踏まえ、授業を受講する側の視点にたつと単位を取得すること自体が目的として位置づいている。

- ✓ 長い文章を引用するときは、「」で囲まずに、ブロックで引用する。
- ✓ ブロックで引用する時は、左に 2 文字インデント（左側に 2 文字分空白を空けること）して、抜き出した文章を記す。こうすることで抜き出した文章がどこからどこまでか、明確にわかるようになる。
- ✓ 短い文章を直接引用するときと同様に、直接引用したページ数がわかるように書く。
- ✓ ページ番号を記す位置は「。」（句点）の後ろです。

2.1.4 長く引用する—引用箇所が複数の段落やページにわたる場合

宮城（2017）は、以下のように指摘する。

東北大学では、たくさんの部活動やサークル活動が行われており、学生は自らの意思に基づき、所属するか否かを決定する。学生が所属するサークルを決める方法として、ビラ配りやポスター掲示、高校時代の所属経験、趣味、他大学との交友関係の広さ等、多様な要因が指摘されている。（中略：筆者）。部活動やサークル活動に所属するきっかけは何であれ、活動内容に対する満足度は所属前後で変わらないが、人との付き合い方に注意しなければ、交友関係の満足度は変化することが知られている。（宮城 2017, pp.1-3）

- ✓ 「（中略：筆者）」という表記を用い、必要十分な情報のみを抜き出す。
- ✓ （中略：筆者）は「筆者の判断で、あいだの文章は省略した」という意味を表している。
- ✓ 複数のページにわたる場合、ページは「pp.1-3」のように表記する。pp.は pages の略。

2.2 間接引用

引用する文の表現を要約・換言して引用する方法

2.1.1 短く引用する—引用する文献が 1 つの場合

青葉は、良いレポートを執筆するためには、関連する書籍や論文を十分に読んだ上で自分の考えを導く事が重要だ（青葉 2017, p.17）と指摘している。

大学生のライティング・スキル向上のためには研究倫理教育が重要であるにもかかわらず、多くの大学では十分に行われていないと言われる（青葉ほか 2015, pp.20-22）。

大学生に行ったアンケート調査の結果、同じ大学内に、授業や就職活動等に関する情報交換ができる友達がいないと回答した大学生は約 15%、悩み事を相談できる友達がいないと回答した大学生は約 20%、社会的な課題について議論できる友達がいないとする大学生は 25% である事が明らかになった（宮城 2018）。

- ✓ 間接引用の場合は「」で囲まない。
- ✓ 論文の内容全体を要約した場合は、ページ数を記す必要はない。

2.1.2 短く引用する—引用する文献が複数の場合

良いレポートを執筆するためには読書が不可欠である（青葉 2010; 川内 2013）。

初年時から多くのレポート課題に取り組んだ経験のある学生ほど、高年次における学業成績が高いという結果がある（青葉ほか 2015; 川内 2013; 宮城・泉 2016）。

調査によれば、初年時に論証型レポートを書く経験をしなかった学生は、卒業論文を執筆する段階になって後悔する割合が有意に高い（青葉 2002, p.45; 川内・青葉 2010, p.7）。

- ✓ 複数の文献を要約して間接引用する場合には、同じ（）カッコの中で複数の文献情報を示す。異なる論文のあいだは「;」（セミコロン）でつなぐ。
- ✓ 「;」（セミコロン）のうしろは、半角あける（半角スペースを挿入する）。

Q & A

Q5. 同じ著者の複数の文献を間接引用したい場合には、どう記せばいいのでしょうか？

A5. 複数の文献の刊行年の間を「;」（セミコロン）でつなぎましょう。同一著者による同一刊行年の文献が複数ある場合は、a, b, c, …の記号を付して区別し、参考文献リストにも同様に a, b, c, …を付けます。

例 1：（青葉 2014; 2015） 例 2：（青葉 2014, p.3; 2015, pp.6-8）

例 3：（宮城 2014a; 2014b; 2016）

2.1.3 長く引用する—1つの文献から続けて間接引用する場合

若林（2013）は大学生の休日の過ごし方を分析している。その結果、過去と比較してもアルバイトに費やす時間が増加した事が明らかになった（若林 2013, pp.5-6）。このことから、学生にとっては趣味に費やす時間が以前よりも減っていると予想できる。

若林（2013）は大学生の休日の過ごし方を分析している。その結果、過去と比較してもアルバイトに費やす時間が増加した事が明らかになった。学生の経済状況を見ると、保護者からの仕送りが減少した事が伺える。ここでは、大学生がアルバイトに費やす時間が相対的に増加した要因は、生活のためにアルバイトをせざるを得ない状況にある学生が増えたためと考えられている。（若林 2013, pp.5-12）

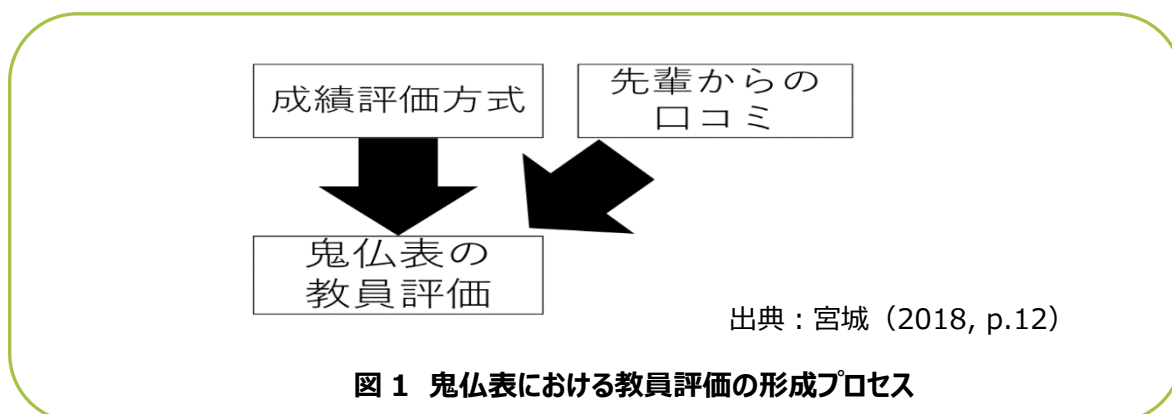
以上のことから、学生にとっては趣味に費やす時間が以前よりも減っていると予想できる。経済状況が厳しい学生の増加により、時間のみならず趣味に使える金額もこの5年で減少したのではないかと思われる。

- ✓ 同じ文献からの間接引用が複数の文にわたる場合は、どこが引用かを明確にする。
- ✓ 同一文献からの間接引用が続けて3文以上に及ぶ場合には、引用の始点と終点が明確になるようにする。そのため、できる限り段落のまとまりとし、引用が終わる所で改行する。文献の情報は段落の終わり（段落最後の句点の外）に示すようにする。

2.3 図表の引用

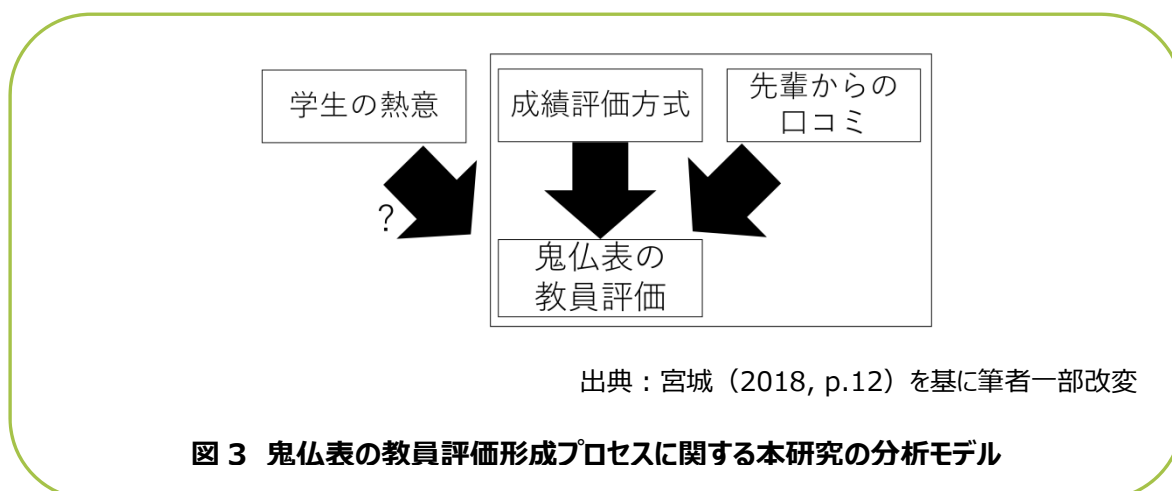
2.3.1 参考文献、参考資料に記載されている図表をそのまま用いる場合

基本的には、参考文献の書き方と同じように、「出典」を明示する。



- ✓ 図表が文献のどこにあるかわかるように、必ずページ番号も記載する。

2.3.2 参考文献、参考資料に記載されている図表の一部を変える場合



- ✓ 引用元の図表をそのまま転載したのか、あるいは筆者が一部を改変したのかを明示することが重要。
- ✓ 元の図表から原型を大きく変えているが参考にしたという場合には、「宮城（2018, p.12）を参照して筆者作成」という表現等にしよう。

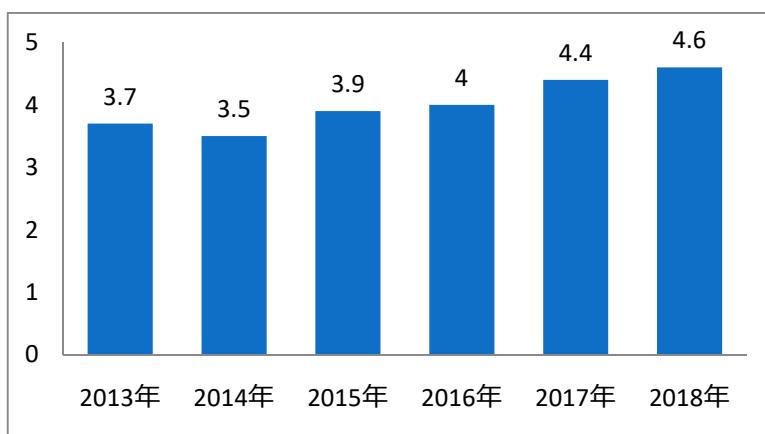
2.3.3 公表データや公表資料をもとに独自に図表をまとめる場合

公表されている調査のデータを利用し、自らが図や表を作成した場合には、以下のように示す。

表 1 鶏の唐揚げの好き嫌いに関する男女別集計

性別	男性		女性		合計	
	2010年	2015年	2010年	2015年	2010年	2015年
好き	82	85	76	62	158	147
嫌い	28	25	14	28	100	53
合計	110	110	90	90	200	200

出典：鶏の唐揚げ大好きクラブ「唐揚げに関する調査結果」（各年版）をもとに筆者作表



出典：東北大学生生活研究会「東北大学生の生活に関する調査報告書」（各年版）をもとに筆者作成

図 4 東北大学生の生活満足度指標の年別推移